

平成23年度事業計画(案)

基本姿勢

本年3月11日以降の困難な状況を踏まえつつ、当業界として被災者をはじめ消費者に支持される食品を安定的に提供することが基本であり、節電や原材料供給の不安等を克服しつつ行政や社会の要請に的確に対応することにより、日本の復興・再生に貢献する必要がある。このため当協会としては会員に対する行政情報等の提供や社会的要請の周知等を的確に遂行し、即席食品産業の健全な発展に資する。また消費者をはじめ学校教育の現場や各種メディアに対する即席食品についての情報提供・発信、誤解払拭を図ることとし、企画委員会、即席めん食育推進委員会、技術委員会、表示委員会の機能を十分に発揮する。併せて会員相互の情報共有・交流・研鑽の場としての機能を果たす。

運営に当たっては、一般社団法人日本即席食品認定協会と密接に連携し、かつ適切な業務分担を行う。

昨年の総会での決定に従い、当協会は一般社団法人へ移行するため、条件が整い次第内閣府へ認可申請を行うこととする。

1 諸会議

(1) 総会 平成23年5月26日(木)

場 所 ホテルニューオータニ(東京都千代田区紀尾井町)

(2) 理事会

第1回 平成23年5月26日(木) 総会に先立って開催

場 所 ホテルニューオータニ(東京都千代田区紀尾井町)

第2回 平成24年1月を予定

(3) 企画委員会 2回を予定

(4) 即席めん食育推進委員会 9回を予定

(5) 技術委員会 12回を予定

(6) 表示委員会 5回を予定

2 事業

(1) 即席めん食育推進事業

本事業は、これまで多様なツールによって即席めんに対する正確な情報を消費者、学生・生徒、栄養士、メディア等に提供し、即席めんを通じた食育に寄与するとともに、即席めんに対する誤解、思いこみ、誤った情報による不安の払拭に効果的に機能してきた。

平成23年度においては、以下の事業を実施することとし、即席めん食育推進委員会において具体的計画を策定し実施する。

① インスタントラーメン健康と栄養セミナー

青森県、東京都、三重県、和歌山県、兵庫県の5ヶ所を予定。消費者、栄養士・管理栄養士、学生を対象に各地約100人を予定。講師等詳細については、今後開催地栄養士会の希望に沿うよう調整のうえ決定する。

② インスタントラーメン小学生レシピコンクール（10周年記念）

小学生高学年を対象とする本コンクールは、今年度で10回目を迎えることから記念大会を開催する。従来どおり、北海道、東北、関東甲信越、中部、近畿、中四国、九州沖縄の各地区大会の上位成績者による全国大会を開催する。審査員等詳細は今後決定。

受賞者・作品については当協会ホームページ「即席麺家頁」に掲載。

③ インスタントラーメンオリジナル料理コンテスト（10周年記念）

栄養士・調理師を志す学生を対象とする本コンテストは、今年度で10回目を迎えることから記念大会を開催する。審査員、審査基準等詳細は今後決定。

④ 刊行物・資料作成配布

即席めんに関する情報提供・誤解払拭を目的に、本年度も刊行物・資料を作成・提供する。

i 小学校副読本・同手引き

社会科、家庭科、総合学習用の副読本「もっと知りたい！私たちの大好きなめん」（仮名）を制作し、全国公立小学校の5年生を対象として35万部を約4,000校に配布。併せて、教師用に副読本利用方法を解説した「活用ガイドブック」2万部を制作し配布する。

ii インスタントラーメンとっておきレシピ（仮名）

（社）日本栄養士会監修による栄養士及び管理栄養士が考案した即席めんレシピ集をリニューアルし、1万部制作のうえ各種イベントでの配布や各種媒体を通じ告知のうえ抽選で読者にプレゼントを予定。

iii インスタントラーメンの全て -基礎資料-（仮名）

即席めんに関する各種データ、製造工程、原材料、包装・容器、表示等を幅広く掲載した冊子2千部を制作し、各種イベントでの配布やメディア関係者に配布予定。

(2) 調査普及事業

- ① 高齢者に懸念の多い塩分について、即席めんによる摂取の実態を把握するため、(公財)すこやか食生活協会に調査を委託し、報告書を会員に配布し、参考に供する。
- ② 即席めんのJAS格付け製品普及のため、一般社団法人日本即席食品認定協会に対し助成を行う。
- ③ 即席めん製造業における格付け担当者及び品質管理責任者の育成のための講習を実施する。
- ④ 即席めんに関する公正競争促進のため、日本即席食品工業公正取引協議会に対し助成を行う。
- ⑤ その他、必要に応じ弾力的に調査普及事業を実施する。

(3) 広報宣伝事業

- ① ホームページによる情報提供
当協会のWEBホームページ「即席麺家頁」<http://www.instantramen.or.jp/>を随時更新し、即席めん及び当協会に関する様々な情報を提供する。
- ② ビデオ・DVD「日本初の世界食 インスタントラーメン」
様々なイベントで活用するビデオ・DVDにつき、所要の改定を行う。
- ③ メディアキャラバン
テレビ局または番組制作会社のプロデューサー・ディレクターと直接面談し、即席めんに関する誤解払拭・理解促進を図り、今後の正確な報道に繋げる活動。番組制作会社のディレクター5名を予定。
- ④ インスタントラーメン通信
即席めんに関する「誤解を助長する報道」を防止する目的で、メディア及びオピニオンリーダーを対象としたニュースリリース形式の冊子1,000部を作成配布。即席めんに関する話題性のある情報や基本情報を内容とする。
- ⑤ 「すくすく通信」情報掲載
全国1,216ヶ所の保育園を経由し、園児の父母を対象に育児に関する情報を提供する「すくすく通信」14万1千部を利用し、即席めんの上手な利用方等関係情報を提供する。秋・冬2回を予定。
- ⑥ 「実りのフェスティバル」参加
(財)日本農林漁業振興会が主催する農林水産祭の事業として11月に開催される「実りのフェスティバル」にブースを設置し、パネルによる即席食品情報の紹介及び関係資料の配付を行う。
- ⑦ (社)栄養改善普及会が主催する「食品と栄養の移動教室」に協賛し、一般消費者、学生、食生活改善グループ等を対象に、即席めん関係資料を配付する。
- ⑧ その他、必要に応じ弾力的に広報宣伝事業を実施する。

(4) 関係団体との連携・協力

様々な情報交換や要請活動等を円滑に推進するため、多様な団体と連携・協力を行う。

- ① 食品関連…(財)食品産業センター、(社)日本食品衛生協会、(社)食品需給研究センター、全国小麦粉実需者団体協議会、製粉協会、(財)製粉振興会、全国加工米需要者団体協議会、もち米需要者懇談会、日本食品添加物協会
- ② 食育関連…日本食育学会、(社)日本栄養士会、(社)栄養改善普及会、健康日本21推進フォーラム、NPO法人子どもの食育推進協会、(公財)すこやか食生活協会
- ③ 環境関連…(公財)日本容器包装リサイクル協会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、紙製容器包装リサイクル推進協議会、3R活動推進フォーラム
- ④ 国際関連…(独)日本貿易振興機構、(特非)国際連合WFP協会、世界ラーメン協会(WINA)
- ⑤ その他…(社)大日本農会、消費科学連合会、(財)消費科学センター、(社)フードスペシャリスト協会

(5) 機関誌発行

即席食品を巡る諸情勢、行政の動き、当協会の活動等を内容とする当協会機関誌「即席食品」を、年度4回、4月、7月、10月、1月に各150部作成し、会員、理事・監事、関係団体、農林水産省、国会図書館等に配布する。

(6) 東日本大地震・大津波等被災者への支援等

今後とも会員の協力を得て、今次災害による被災者支援を行う他、東京都の災害対策用備蓄食糧確保に協力する。

3 財政

(1) 固定資産

基本財産の2千万円及び平成26年に予定される協会創立50周年事業の準備基金2千万円を固定資産として維持する。

(2) 会費

前年度と同額の会費負担をお願いする。

- 1) 会員のうち、即席めん製造会員の会費は①、②及び③の合計

① 平等割会費

1社当たり年間 24千円

② 生産高割会費

保有めん機の幅	1台当たり年間会費
300mm未満の場合	24千円
300mm以上500mm未満の場合	48千円
500mm以上の場合	72千円

③ J A S 格付数量割会費

1食当たりの希望小売価格	1食当たりの会費
100円以下	4.5銭
101円以上200円以下	7.5銭
201円以上	8.5銭

2) 会員のうち、1) 以外の会員の年会費は48千円